



つばさ なんばー
tsubasa N 0.160

せいじん
成人おめでとうございます！



であ じゅうねん あらや じばや
つばさと出会うって十年、新谷翼さん
せいじんしき さんか
成人式に参加してきました！



じりつすてーしょん おも
自立ステーションつばさは、どんなに重いしょうがいをもっている
ひと じりつ じつげん しえん すてーしょん
その人らしい自立が実現できるように支援するステーションです。



ねん せいかつじゅく こうえんかいだいいちだん
2022年つばさ生活塾 講演会第一弾

じぶん かた こきゅうき す まち い
「自分を語る～呼吸器をつけて好きな街で生きる～」

みな さくねんちゅう たいへん せわ ほんねん ねが
皆さま、昨年中も大変お世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。

せいかつじゅく しせつ おやもと せいかつ じ たいしょう じりつ
つばさ生活塾は施設や親元で生活しているしょうがいしゃ(児)を対象に、自立

せいかつ ひつよう にんげんかんけい つくりかた せいどがくしゅう けんこうかんり きんせんかんり がいしゅつきかく
生活に必要な人間関係の作り方や、制度学習、健康管理や金銭管理、外出企画など

を、すでにじりつしているしょうがいしゃがこうしとなつておこなうじりつせいかつぶろぐらむ
を、すでに自立しているしょうがいしゃが講師となつて行う自立生活プログラムで
す。

しかし、ころなかんせんかくだい がいしゅつきかく こうえんかい ちよくせつあ おこな
しかし、コロナ感染拡大で、外出企画や講演会をみなさんと直接会つて行つと

むずか じょうきょう つづ なか ずーむ
いうことが難しい状況が続いています。そんな中つばさではズームなどの

りもーと ゆーちゅーぶ かつよう かつどう はっしん
リモートや、YouTubeなどを活用してつばさの活動を発信していきました。

しせつ せいかつ かぞく す ひと だいがく ちいき
施設で生活していたり、家族と住んでいるしょうがいしゃの人たち、大学や地域の

しょうちゅうがっこう じぶん こえ でむ さべつ
小中学校などに自分たちから声をかけ、出向いていき、しょうがいしゃが差別され

ちいき せいかつ ひと ふ みぢか ひと
ずに地域であたりまえに生活できる人が増えるように、つばさの身近な人から、さら

きた ほっかいどう みなみ おきなわ ぜんこくかくち はっしん
には北は北海道、南は沖縄まで全国各地に発信していきます。

だいいちだん わたし しせつじだい たいせつ ゆうじん よこかわ ゆき こうし
その第一弾として、私の施設時代からの大切な友人である横川由紀さんを講師と

まね おた であ げんざい せいかつ かつどう
してお招きして、生い立ちや、つばさとの出会い、そして現在の生活や活動について

はな おも げんざい よこかわ こきゅうき ぼらんて
お話ししていただくと思っています。現在、横川さんは呼吸器をつけて、ポランテ

いあ い りょこう おとす はこだてし す
ィアさんなどを入れながら、旅行で訪れた函館市に住んでいます。

わたし がめん かお あ ねんいじょう いま
私も画面ごしにはなりますが、顔を合わせるのが5年以上ぶりなので今からど

はなし き たの
んなお話を聞けるか楽しみにしています。



ふじよし
藤吉さおり

かいごにんりれー 介護人リレー



やまもとたける むらたちなつ
山本武 村田千夏

はじめまして。つばさの介護者の村田千夏と申します。いろいろな縁があってつばさに出会ったのは、2020年の1月頃でした。人とコミュニケーションをとることが苦手な自分が、まさか介護に携わるようになるなんて思ってもいませんでしたが、介護者としてなんとかみなさんに育てていただいています。

つばさでの介護は、相手の生活を支えながらも、自分の心や生き方を見つめ直すことでもあり感じています。しーちゃんや富子さんと生活を共にすることで、自分が持っていた障がいへの偏見に気がきました。また、言いたいことがうまく伝えられなかった時には、自分の考え方や話し方の癖に気がついたりもします。私が常識だと思っていたものはそんなことはなく、つねに常識とは何か考え直していく必要があります。

また、介護を始めたことで、社会がどれだけマジョリティ向けにつくられているのかわかりました。車いすでは入れなさそうな通路やお店、漢字しかない説明書き、親切ではない制度や仕組みなど...上げればきりがありません。今までそのようなバリアに気がつかず、声を上げなくても生きていける社会に自分はいたのだと思いき知らされました。今はつばさでの介護を通じて、障がい者を含めたマイノリティとされる人びとが、自分らしく生きられる社会に変えていく活動ができればと思っています。

新型コロナウイルスの影響もあって、あまり外に出かけることができませんが、まだまだみなさんとたくさんの経験をしていきたいです。これからも精進しますので、よろしくお願いいたします。





寄付・賛助会員となっていた方



ありがとうございました

毎月皆様からいただいたカンパは自立の家の維持や活動に使わせて頂いております。つばさも設立から27年を迎え、少しずつではありますが、地域の皆様を知っていただける団体となりました。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

菊地牧恵様

他多数の方からご寄付頂きました。

編集後記

2022年が始動して半月ほどたちますが皆様いかがお過ごしでしょうか？先日はここ東京でも雪が降り、普段慣れていない私達にとっては考えさせられる出来事でした。会報にも載せましたが、自立ステーションつばさで自立をし、今は函館で自立生活をされている横川由紀さんにお話をさせていただきます。Zoomという形ではありますが、その思いを感じられたら良いと思いますので皆様も是非、ご参加いただければと思います。(金井)

編集・パソコン

藤吉さおり 金井誠 相澤誠 高野さくら

発行所

障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

編集 自立ステーションつばさ 代表 藤吉 さおり

〒206-0023 多摩市馬引沢1-16-4 レスト96 102号

TEL & FAX. 042-389-6491

Eメール tsubasa@age.jp

頒価 100円